

この森の奥に進んでいった村の人間が何人も
行方不明になっているんです。

村の人間は不安になって誰も森に近づかなくなっています。
冒険者の方どうか助けてください。

冒険の途中に立ち寄った村でそんな話を聞いた僕は、
村の人を助けるために森の奥を探索してみることにした。
森は奥に進むたび周囲が薄暗くなっていたが、
モンスターとは出くわすことはなく
何も手掛かりをつかめずにいた。

日が暮れてきたので一度村に帰ろうかと
迷っていたところ一軒の家を見つけた。





村の人が行方不明？
大変だね…

きつと、この辺りに棲んでいる
モンスターの仕業だと
思っただけど…

人を襲うモンスターがあ…
そんな話は
聞いたことがないなあ



キミはそのモンスターを
やつつけるために
一人でここまで来たの？

困っている人がいたから
助けてあげたいんだ。
剣の腕にはまだ自信はないけど、
このあたりのモンスター
くらいならなんとか
倒せると思うし…



私と変わらないくらいの
大きさなのに偉いね
協力できることがあれば
何でも言うてー!

そうだ!
外ももう暗いし、
今日はここに
泊まっていきなよ!



本当にいいの?

もちろん!
ずっと一人で寂しかったんだ
さー! ボロボロの家だけど
くつろいでいうてー!

この夜はこの娘の家で過ごすことになった。

女の子は久々に人と話したのがうれしかったのかとても楽しそうに世話を焼いてくれた。

この娘が安全に暮らすためにも、

明日はもつと頑張つて森を探索しよう…

そう思つて今日は寝ることにした。

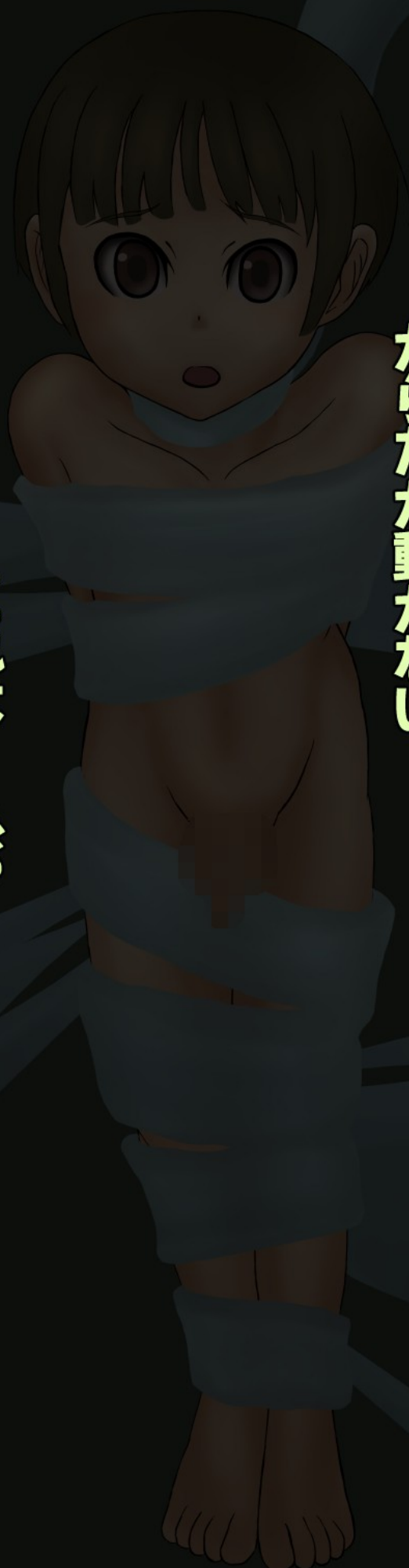
…ん？…ん？…

…なんだ？

…からだは動かない…

…これは…糸!?

目が覚めた？

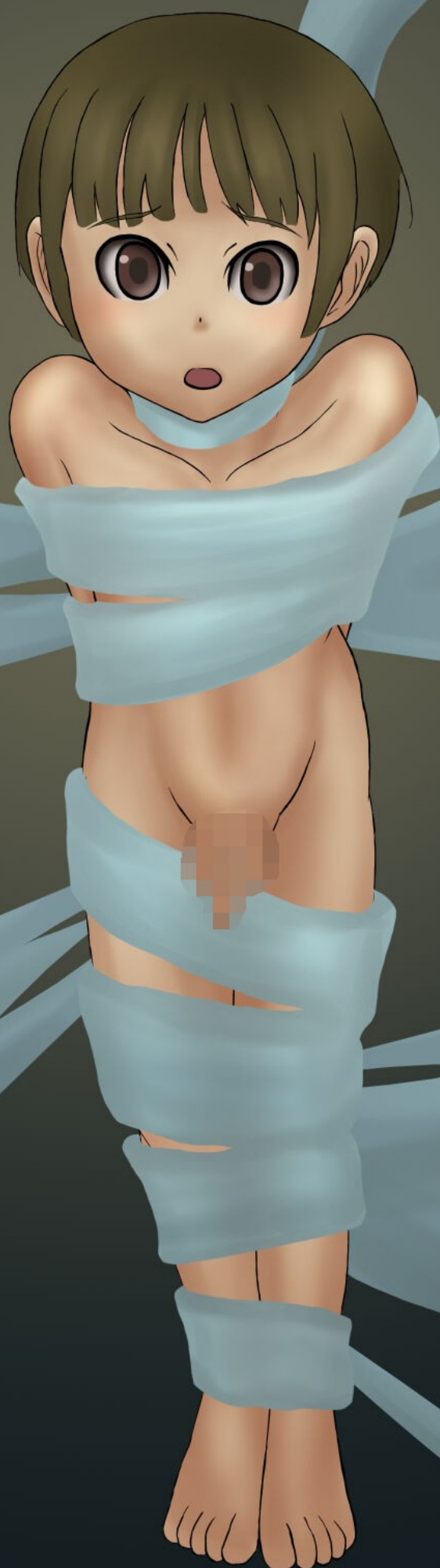


この糸は一体？

…私の糸だよ

え？

村の人や旅人さんを捕まえてたのは私なんだよ
いつもはすぐにグルグル巻きにするんだけど、
君は冒険者さんだし寝込みを襲ってみたんだ…



！まさか僕が探していたモンスターって…

…ねえそんなことより
こっちを見て…

…ほら
…エッチな気持ちになつてくれない？

うっ
変な冗談はやめてよお…



冗談 なんかじゃないよ
ほら…お○んちに湿った糸を
絡めて 弄んであげるね

う、あ、あ

ねばねばの糸 気持ちいいでしょ…
君を縛っている糸とは 別物だよ…

し
し
し
し
し

はづ…どっつて…糸なんて…
君は…どっつても…人間にしか…みえ…ない…のに…

知りたい？
…いいよ私の友達紹介してあげるね…



私のお友達だよ
私の中に住んでるんだ...

!?

最初の子は私と同じで一人だったんだけど...
今はこんなに賑やかなんだよ

ぐ
ぱ
あ



この子たちの考えてることはぜんぶ分かるんだよ…
今はねー君のせーしが欲しいいつて…

それって…まさか…クモと…

…いやだ…離して…

そんなに嫌がることないでしょー
この子たちも全員女の子なんだから
傷ついちゃうよ…もー



うっ…あああああ…



君のお〇んちゃん 限界なのはわかってるんだから
ほらあ出して…お・ね・が・い♡

いっ…やあ…
う…あ…あ…あ…あ…あ…

ド

ク

ド

ク

さあ次は下の子たちにちようだい…

やだよ初めてがこんな…

私の中人間の粘膜と
クモの糸が
ぎゅうつて絡まって
とろとろに
なっちゃったから！

…ほら
入っちゃったよ

いっ…いっ…あ

うっ…ふああ…

ふふっ…こんなにたくさん
女の子と交われるなんて
他にはないハーレムでしょ？
この幸せ者っ

こんな…ちが…あ…
…ん…うっ



頑張つて我慢してるんだ…
いいよ我慢をしてくれた方が
いっぱい出るもんね

ん…ん…ん…
う…う…う…あ…あ…



あ…あ…あ…

…もうだめ…

ほら出して…

君のせーし

みんなで受け止めて

あげるからあ♡

あああああああああ

ギ
ウ

ウ
ウ

あ…あ…あ…

…もうだめ…

ほら出して…

君のせーし

みんなで受け止めて

あげるからあ♡

あああああああああ

ト
ク
ド
ク

いっぱい出してくれたね お疲れ様…
さて…君にはもう二つ仕事があるの…

……？

この子たちが子供を作るにはとっても体力が必要なんだ…
だから

…キミの体を栄養にさせて♡

そ…れって…

怖がらなくてもいいよクモに食べられるって
とっても気持ちがいいんだ…

体に消化液を流してもらってドロドロになるの…

いやだっ！お願い助けて！

ふふ…泣いてもだめだよ

この子たちおなかぺこぺこだもん

…じゃあ…君の体に溶解液を流し込むね…
これが全身に回ると
どろどろってとってても 気持ちよくなれるから

かぶっ



う…ずずずずずずずず

わかるでしょう？
ドクンドクンって液が体を溶かしてまわってるのが…
このままゆっくり全身に広がっていくよ…



液がまわってきたかな？
とつても恍惚とした表情になってるよ

あははおもらししてるね… 恥ずかしがらなくていいよ
消化液が体をまわって体がマヒしてきた証拠だから…





そろそろかな？
キミの中は今体の細胞やお肉が溶けて混ざり合って
ドロドロのスープみたいになってるんだよ…
まるでゃなぎさんみたいだね

それじゃあキミの生命のスープ吸わせてもらっね…

んあああああああああ…

ちゅ
うう
うう
うう

…体を吸われるのって最高に気持ちがいいでしょ？
このまま干からびるまで吸い尽くしてあげるね…
意識は最期の方まで残るからしっかり堪能していつて…

えへへ君の「ふ」ってのもおっくう
中のみんなが言ってるよ…

君のからだはほとんどなくなっちゃったね…
時々ぴくぴくって痙攣してくすぐりたい…
もうすぐ君の冒険も終わりかな…



残っていた意識も消えちゃいそうだね

とびっきりの絶頂を味わいながら

私の腕の中で 天国に旅立っていつて…



からっぽになっちゃたね..
ぐぢゅっ♡ま

